

イオン北海道からみなさまへ

9月は防災月間

本社の取り組み



総合防災訓練



無線アプリ



非常用品の備蓄

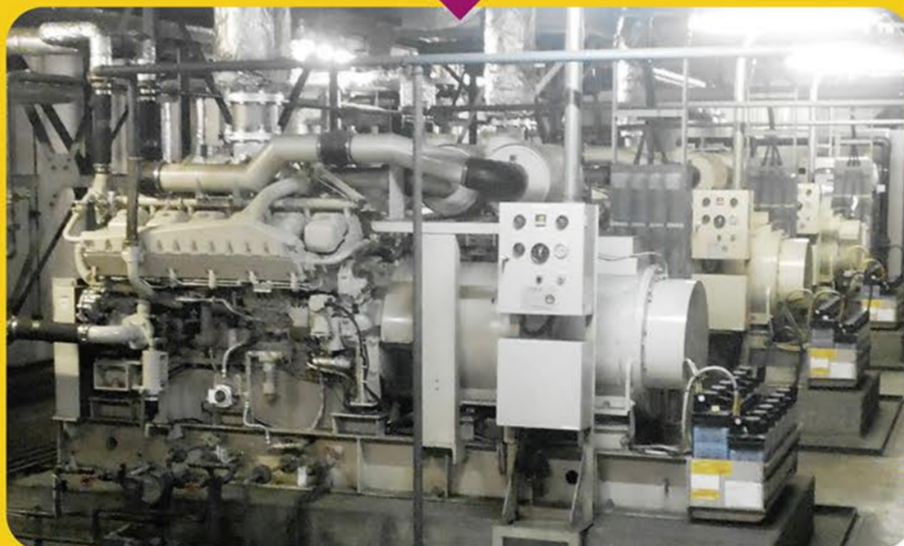


店舗の取り組み

防災訓練
(イオンモール釧路昭和)



常用発電機の設置
(イオン江別店)



自治体との連携

北海道胆振東部地震の際
には物資を提供



イオン北海道は防災に向けた取り組みを行っています

9月は防災月間です。イオン北海道は、地域の暮らしを守る社会インフラの一つとして、大規模な自然災害に備え、防災に向けた取り組みを行っています。

一例として、本社では、震度5強以上の地震が起きた際に対策本部を立ち上げ、いち早い営業再開に向けて陣頭指揮を執ります。また、対策本部機能維持のため、非常用発電機の設置や、水やレトルトご飯など非常用品の備蓄を行っているほか、各対策本部委員のスマートフォンにIP無線アプリを導入し、災害時の店舗との連絡手段の確保も行っています。さらに、年に1度大規模災害を想定した総合防災訓練を実施しており、店舗や自治体、グループ企業などと連携し、実践的な訓練を行っています。

店舗では、本社同様定期的に防災訓練

を行っているほか、一部店舗では災害時に店舗機能を維持するため、非常用発電機に加え、常用発電機も設置しています。

また、地域との協力体制構築のため、北海道をはじめ、道内49の自治体や民間企業と防災協定を締結しており、防災訓練の実施や災害時に支援物資の提供などを行っています。この協定に基づき、北海道胆振東部地震の際には、自治体へ物資提供を行っています。

イオン北海道はこれからも社会インフラとしての役割を果たすべく、防災に向けた取り組みを継続してまいります。

SDGsの取り組み



SDGs (持続可能な開発目標) とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標11、17の達成に貢献します。